

学会、講演会発表一覧

2022.5.12 第65回日本糖尿病学会 年次学術集会

神戸ポートピアホテル

栄養材の形状変化は胃排泄速度とインスリン分泌能を変化させることで血糖コントロールを安定化させる

○高田 俊之 早川 みち子 八木 規夫 楠 仁美 日野 泰久

2022.5.31 第37回日本臨床代謝栄養学会 年次学術集会

パシフィコ横浜ノース

粘度可変型流動食はインスリン分泌が保たれている場合、糖質量とは独立した血糖上昇抑制因子として機能する

○高田 俊之 早川 みち子

2022.7.2 第33回 日本嚥下障害臨床研究会

中村記念病院 札幌市

患者個々が自己の障害に応じて習得した独特な嚥下法を普遍化することは可能か？

Wallenberg 症候群 2 症例からの考察

○高田 俊之 山本 寛和 北口 響子 笠原 舞結 古川 竜也 横山 光洋 大串 幹

2022.9.23、24 第28回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会

幕張メッセ

9.23 多発性脳神経障害を呈し重度の嚥下障害を伴った Ramsay Hunt 症候群の 1 例

○山本 寛和 橋本 香織里 高田 俊之

9.24 誤嚥防止術の適応に苦慮しながらも、粘り強い嚥下リハで経口摂取に至った Wallenberg 症候群の 1 例

○橋本 香織里 山本 寛和 高田 俊之

2022.9.30 日本リハビリテーションケア学会

独特な嚥下法を習得し、嚥下機能の大きな改善を得た Wallenberg 症候群 2 症例とその臨床応用

○高田 俊之 山本 寛和 北口 響子 笠原 舞結 古川 竜也 大串 幹

2022.11.10 第60回全国自治体病院学会

那覇文化芸術劇場なはーと等

半固形状流動食は栄養材の消化管通過速度低下とインスリン分泌増強を介して血糖変動を安定化させる

○高田 俊之 早川 みち子 八木 規夫 楠 仁美 日野 泰久

2023.3.4 第46回日本嚥下医学会

ウイング愛知

嚥下困難感のみで発症、その後多発性神経障害を来し経口摂取不能となった Ramsey Hunt 症候群の1例

○高田 俊之 山本 寛和 橋本 佳緒里

2023.3.5 第52回日本リハビリテーション医学会 近畿地方会

多発性脳神経障害を呈し重度の嚥下障害を伴った Ramsay Hunt 症候群の1例

○高田 俊之 大串 幹 陳 隆明

講演

2022.6.9 岐阜県慢性期医療研究会 2022.6.9 じゅうろくプラザ

嚥下障害の栄養管理 基礎から臨床まで

○高田 俊之

2022.6.10 西神戸オープンカンファレンス

西神戸医療センター 講堂

粘度可変型流動食はインスリン分泌が保たれている場合糖質量とは独立した血糖上昇抑制因子として機能する

○高田 俊之 堤 奈津紀 森下 真紀 三谷 加乃代 早川 みち子